月の光奉賛会

令和元年12月12日 満月

多久頭魂神社・天神多久頭魂神社での御神事

日時：12 月 12 日の満月の日か、前後日

場所：**豆酘の多久頭魂神社（悠紀宮伝承）**

場所：**佐護の天神多久頭魂神社（主基宮伝承）**

大嘗祭がつつがなく執り行われ、次の時代に歩み始めています。

大嘗祭が行われる前日 11 月 13 日に「はやぶさ２」はリュウグウから地球に向けて帰還を開始しました。「はやぶさ２」は、次の時代を始動させる試料を 2020 年 11 月に持って帰ることになっていて、地球に帰還した翌年 2021 年１月１日の天皇陛下の四方拝から、言霊の力が全ての人に解き放たれます。

無事に次の時代に入れるように祈念したいと思います。

■御祈願の趣旨■

御皇室の弥栄と日本各地の宮司様の弥栄を祈り、世界の平和を祈念し、そういう活動を支えられる地域経済の繁栄を願います。

宮司様に大祓祝詞を奏上していただき、参列者で教育勅語を奉唱します。

■「月の光奉賛会」とは■

「月の光奉賛会」とは、日本神話の源流をなす伊邪那岐命と伊邪那美命の国生みの島々、神話に由来する島々を顕彰する奉賛会です。代表を務める成田亨は、平成７年（1995 年）の阪神淡路大震災以降、家族で日本各地の 1500 カ所以上の神社を参拝してきました。

御神職の方々のその先には、天皇陛下がおられるものなので、平成から令和への御代替りにあたって、こういうことが自覚できるように御神事をやっていくことを目的として設立しました。

- - - -